



編集・発行 松戸市立総合医療センター 地域連携室
〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993-1 電話 047-712-2511 (代)
<https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

医療機関各位

松戸市立総合医療センター
病院長 尾形 章

晩夏の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、当院に対して一方ならぬご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

医療機関の皆様方へ毎月お送りしております「医療連携News」を是非ご覧いただき、また患者さんへ必要な情報を提供いただけましたら幸甚に存じます。

泌尿器科のご紹介

松戸市立総合医療センター泌尿器科は、千葉大学大学院医学研究院泌尿器科の関連病院として、2023年4月から常勤医を6名へと増員し診療を行っております。

また、同時にロボット支援手術(da Vinci Xiサージカルシステム[®])を導入いたしました。7月末までに9例のロボット支援前立腺全摘術を問題なく施行しております。

新体制立ち上げのため、診療内容の変更がありましたので、今回は当科で可能な診療内容についてご紹介いたします。まだまだご支援をお願いすることもあるかと存じますが、よろしくお願い申し上げます。

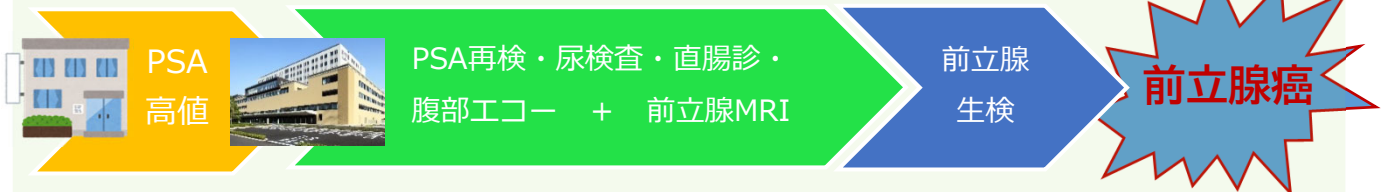


*写真左より 三浦稜太郎医長・竹内信善副部長・北川憲一泌尿器科部長・小林洋二郎医長・小林和樹医員・前原信貴医長

【前立腺癌】

今回は、前立腺癌の治療についてお話しします。前立腺癌の治療が大きく変わるきっかけとなったのは、間違いなく**PSA**の開発です。1990年代にアメリカをはじめとして各国で保険承認された**PSA検査**により、前立腺癌は早期発見が可能となり、2019年には本邦の男性悪性腫瘍罹患数で1位になりました。カットオフ値は4.0ng/mlとされており、高齢者であればもっと高くても問題ないと考えられておりますが、エビデンスはありません。今でも完全に解決したとは言い難いですが、一定の効果をあげていることは確かであり、本邦では自治体判断に任せるということになっております。そんな中、**2022年7月に松戸市でもPSA検診**が開始されました。当科へもPSA高値の方を多数ご紹介頂き誠にありがとうございます。千葉県内の多数の病院への勤務経験からの印象ですが、松戸市はPSAの著明高値の方が多いと感じます。可能であれば積極的にPSA測定を促して頂けると幸いです。

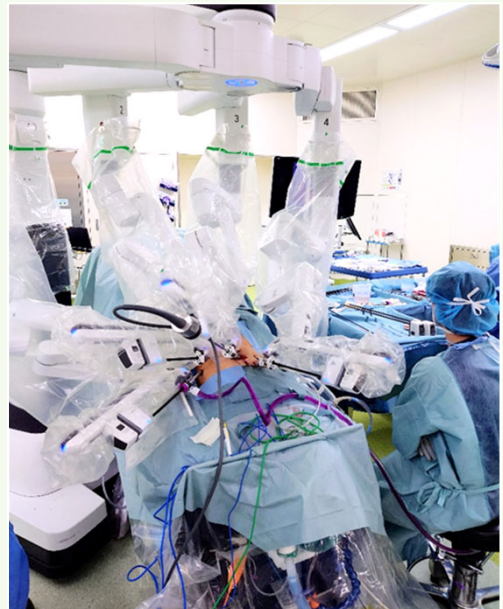
ご紹介頂いたあと、患者さんがどのような経過をたどるかご説明いたします。当科ではPSA高値の方は、まずPSAの再検、尿検査、直腸診、腹部エコー検査を行います。同時に前立腺MRIを予約します。これらの検査で癌を疑う場合、または本人からの希望がある場合には、入院による**前立腺生検**を行います。現在は**2泊3日入院、サドルブロック下で経会陰式前立腺生検**を行っております。前立腺生検の主な合併症は、発熱(前立腺炎)、尿閉、血尿です。ほとんどの方は問題なく退院できますが、問題があれば退院を延期して頂きます。



前立腺生検で陽性となった方は、**前立腺癌**の診断がつかますので、転移検索を行っていただきます。**前立腺癌の好発転移部位は、骨、肺、リンパ節**なので、頸部～骨盤CTならびに骨シンチグラフィにて転移検索を行います。

転移がない場合には、根治療法を行います。根治療法は手術または放射線です。当科では**2023年4月にロボット支援前立腺全摘術を開始**いたしました。7月までに9件の手術を問題なく行っております。当科は千葉大学医学部附属病院泌尿器科での術式と同様に行い、術後尿失禁を極力抑える工夫をしております。前立腺全摘術の主な合併症は尿失禁と性機能障害ですので、ご好評いただいております。放射線照射はIMRT(強度変調放射線)を行います。通常の外照射と比較して、照射後の合併症が少なくすみすみます。

転移が見つかった場合には、基本的にはホルモン療法を行います。男性ホルモンをおさえることで癌の進行を抑える治療です。基本的には男性ホルモン産生抑制のくすりを皮下注射で行いますが、両側精巣摘除術(除睾術)も積極的に行います。内服も併用することが多いですが、近年は既存の抗アンドロゲン薬と違い、新規ホルモン剤と言われる、男性ホルモン産生であるいわゆるステロイドマップの上流からストップする内服薬が複数開発されております。大変高額な薬(月30万円程度)ですが、上手に使用すれば効果も高い薬です。最新の学会や研究会でも、数か月単位で治療法が変化し、追いつくだけでも精一杯ですが、高額な保険診療を行うからには、最先端の治療を行えるよう努力することが責務と考えます。



もともとホルモン依存性である前立腺癌ですが、化学療法も一定の効果があります。タキサン系抗癌剤を使用します。以前はホルモン療法の効果がなくなった方のみ化学療法とされていましたが、最近化学療法の効果が見直され、前述の新規ホルモン剤よりも先行して化学療法を行う方が、生存期間が長い方もいらっしゃいます。

前立腺癌は一般的に、他癌腫と比較して生命予後が長いので、患者さんとは長い付き合いになります。転移がなければ根治の可能性も高いですし、転移性の前立腺癌でも平均生命予後3年程度あるとのデータがございます(あくまで平均ですが)ので、PSA高値の方がいらっしゃいましたらご紹介頂けますと幸いです。

【当科の診療内容】

〈悪性疾患〉

◆ **前立腺癌** 前立腺全摘術は全例ロボット支援前立腺全摘術で行います。手術困難症例は放射線(IMRT)治療を行います。IMRTは放射線科で行いますが、照射前のスペーサー+マーカー留置術が必要な際は当科で行います。また、昨今目まぐるしく進歩する前立腺癌治療に対応すべく、新規ホルモン剤や化学療法も行っております。治療は日々変化しておりますので、転移性前立腺癌や去勢抵抗性前立腺癌を認めた時点でご紹介ください。

◆ **腎癌** 腹腔鏡下腎摘除術が可能です。免疫チェックポイント阻害薬の投与も行えます。小径腎癌に対するロボット支援腎部分切除術、ロボット支援腎全摘術も鋭意準備中です。

◆ **尿路上皮癌** 腎盂癌、尿管癌に対しては腹腔鏡下腎尿管全摘術を行います。再発症例や切除不能症例は免疫チェックポイント阻害薬投与を行います。

進行膀胱癌に対しては膀胱全摘術、尿路変更術も行いますが、現在は開腹手術での対応です。ロボット支援膀胱全摘術も今後は検討していきます。



〈良性疾患〉

◆ **腎尿管結石** 2019年より経尿道的結石破砕術(TUL、TUVL)を行っております。残念ではございますが、2023年より経皮的腎結石破砕術(PNL)は施行しておりません。珊瑚状結石や大きい腎結石(長径20mm以上)はお受けできませんので、ご承知ください。また、衝撃波結石破砕装置がなく、体外衝撃波結石破砕術(ESWL)は行っておりません。

◆ **前立腺肥大症** 経尿道的前立腺切除術(TUR-P)を行ってまいりましたが、経尿道的水蒸気治療(WAVE)を開始いたしました。前立腺内腺に103℃の水蒸気を注入することで組織を壊死させる治療で、非常に低侵襲の手術となりました。前立腺肥大症の外科的治療をご希望の方は、ご紹介ください。





◆**排尿障害** 内服加療など行っております。
間質性膀胱炎に対するDMSO膀胱内注入療法や水圧拡張術も施行可能です。
安定した際には逆紹介させて頂くこともございますのでよろしくお願い申し上げます。

◆**その他** 副腎腫瘍に関しては、内分泌代謝内科と連携をとります。まずは内科にご相談ください。女性尿失禁手術、男性不妊は対応困難なため、他院へご紹介させていただくことがあります。

【患者さんのご紹介と予約について】

初診外来は毎日午前中に行っております。紹介状は「泌尿器科外来担当医宛」でお願いいたします。また、患者さんの待ち時間短縮のため、医療機関からFAXによる診療予約申込み又は紹介状をお持ちの患者さんから電話による診療予約申込みをしていただきますようお願いいたします。

地域連携室（紹介予約担当）
TEL 047-712-0685 FAX 047-712-2573
（受付時間 平日 8:30~17:00）

* 紹介患者FAX予約診療申込書は、当院ホームページからダウンロードできるほか、地域連携室までご連絡いただければ郵送いたします。

また、必要に応じて時間外でもできるだけ対応させていただきますので随時ご相談ください。

医療機関専用ダイヤル 047-712-2585
365日24時間対応

※医療機関専用ですので、患者さんにはお知らせしないようお願いいたします。

臨時休診等お知らせ (2023年7月20日現在)

8月 医師の休診					
内科	田代医師	21日(月)、25日(金)	整形外科	鈴木医師	15日(火)、16日(水)
	高橋医師	9日(水)、15日(火)			22日(火)、23日(水)
	南館医師	16日(水)		脳神経外科	田島医師
消化器内科	山崎医師	18日(金)	小児科	成瀬医師	10日(木)、14日(月)
脳神経内科	西村医師	22日(火)			
	吉澤医師	10日(木)	眼科	太和田医師	14日(月)、16日(水)
	櫻井医師	15日(火)			
外科	三浦医師	16日(水)			
	守安医師	18日(金)	耳鼻いんこう科	磯山医師	2日(水)、3日(木)午後
心臓血管外科	梅原医師	2日(水)			
8月 医師の代診					
消化器内科	8月15日(火)	西川医師→佐久間医師	小児科	8月10日(木)	篠塚医師→南医師
循環器内科	8月14日(月)	高橋医師→代診医未定			
耳鼻いんこう科	8月3日(木)、4日(金)*いずれも午前のみ		磯山医師→松崎医師		
8月 診療科の全休診					
血液内科		8月14日(月)			
9月 医師の休診					
耳鼻いんこう科	松葉医師	20日(水)、21日(木)午後	整形外科	小島医師	25日(月)、26日(火)
	山崎医師	29日(金)		血液内科	山子医師
脳神経内科	吉澤医師	28日(木)	眼科	樋口医師	20日(水)
9月 医師の代診					
耳鼻いんこう科	9月21日(木)、22日(金)*いずれも午前のみ		松葉医師→松崎医師		
	9月29日(金)		山崎医師→松崎医師		
9月 診療科の全休診					
小児脳神経外科		9月1日(金)			

